

蛍雪

在京古高同窓会
会報
第14号

〒133 東京都江戸川区
北小岩6-10-1
在京古高同窓会事務局
☎ 3672-7015
FAX 3672-1147
印刷：(株)ケーヨー

謹しんで新春の

御祝詞を申し上げます

在京古高同窓会会長

伊藤 宗一郎

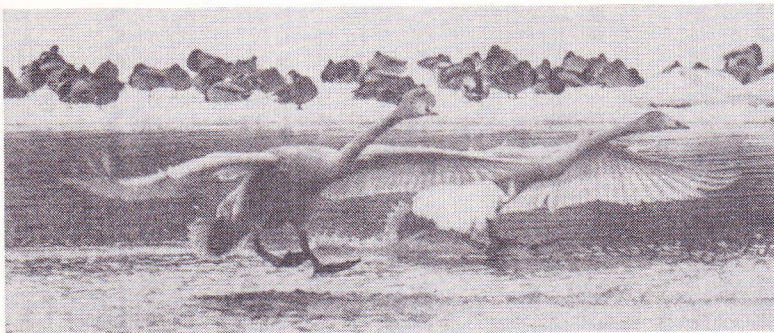
会員の皆様には、ますますご健勝で
ご活躍のこととお喜び申し上げます。
国内外共に時代の趨勢は激震の様相
を帯びております。国内においては
政治不安、経済不況など暗いニュース
ばかりが紙面をにぎわしております。

21世紀の新時代に向けて、変革を余儀
なくされる時期にきていることも事実
であります。ともあれ国政を担う
一人として明るい未来を創造するため
皆様のご期待に応えるよう一層努力を
してまいります。

当会も在京古高同窓会として新たに
スタートしてから7年目となりますが、
この間、会報「蛍雪」を創刊し、同窓
の皆様をつなぐ太い絆となつて、その
存在意義をますます深めたことは衆目
の一致するところでもあります。また、
数年前から総会等に古川市内の各高校
同窓会の代表を招待し、交流を深めて
参りましたが、昨年初めて市内4校の
「合同同窓会」開催にまで発展いたし
ましたことは誠に意義深いものがあり
ます。わが同窓会を核に益々交流の輪
が広がることを願ってやみません。

今母校では、平成9年に迎える百周
年に向けて様々な記念事業が展開して
おります。近々、同窓会本部より当会
に対しまして協力の要請があると思ひ
ますが、その際は皆様の暖かいご支援
を宜しくお願い申し上げます。

今後とも会員の皆様ますます親睦を
深め、同窓会の発展に寄与されること
を祈念致しまして年頭の挨拶とさせて
いただきます。



伊豆沼の白鳥

会費納入のお願い

今回は、年会費未納の方だけに振替用
紙が同封してあります。より活発な同窓
会運営のため、納入下さるようお願い致
します。既に納入した場合には行き違い
ですので、悪しからずご容赦下さい。

第2回『古川市内高校関東同窓会-新年の集い』1/29 (日)に開催決定!

昨春320人を集め、初めて
開催され大好評の内に終了
した「第1回古川市内高校
関東同窓会-新年の集い」
ですが、今年の開催は1月
29日(日)の午後2時から昨年
と同じ「高田馬場千代田平
安閣」で開催されることに
決定いたしました。

高田馬場へ

大集合!

一昨年の大凶作から一転
して昨年は大豊作となった
故郷大崎耕土にあやかって
この「合同同窓会」が昨年
以上の盛り上がりを見せる
ことを期待しておりますので
どうぞ皆さん!知り合いの
他校卒業生をお誘いのうえ
ぜひ、ご参加を下さいます
ようお願いいたします。

昨年初めて催されたこの
会は、意外な再会や出会い
があったりして、参加され
た皆さんも満足気な様子で
した。このことは後で故郷
大崎地区でも相当な話題と
なったようで、あちこちで
評判や噂を耳にします。

その評判が良かったせい
かどうか、昨年の秋に中川
俊一古川市長から開催日の

問い合わせがございました。今回は参
加する意向なのだと思ひます。

今回、開催日を日曜日に選定したの
は、昨年参加した古工高の若い卒業生
たちの間から「日曜日にすればもっと
多く参加できたのに!」という意見が
圧倒的に多く出たのと、会場の都合が
一致した結果です。確かに、週休2日
の時代とはいえ、まだまだ土曜出勤の
会社が多いのも事実です。また、昨年
は予定数を大幅に超す人数が参加した
ため会場が狭く、人いきれムンムンで
往生した方も多かったと思われるのに
なぜ、今回も同じ会場で?と疑問に思
われるかも知れませんが、他校代表の
方から前回の人数の中には「物珍しさ
とかが結構あったり云々?」という
危惧や懸念があるので、「今回までは
平安閣で」との要請がありましたので
同じ場所となりました。今回も昨年と
同様に300人を超える人数が集まったら
また皆さんに不快な思いをさせるかも
知れませんが、今回だけはご容赦くだ
さるようお願いいたします。

記念講演は、日本団体生命保険(株)の
副社長鈴木大吉さんが「一九九五年の
日本経済」という演題で話してくれる
予定です。昨年一年をふりかえりま
す、政治は混沌、経済は長引く不況と
ひどい一年でした。今年の経済はどう
なるのか?果して景気上昇の兆しが見
えるのか?それとも:興味深い題材で
すので期待しております。

招待者の方も各校の校長、同窓会長
あるいは在仙同窓会や関西蛍雪会から
も来られるようですし、前述のとおり
中川古川市長も顔を出す様子。もしか
して古川と姉妹都市の台東区長も来る
かも知れません。土産話も沢山?聞け
そうです。その他、アトラクション等
の詳細は決定しておりませんが、何が
でもか楽しみにご来場ください。

上記の記事でご案内のとおり第二回
古川市内四校合同の「新年の集い」が
一月二十九日に決定しております。
昨年初めて開催され、好評のう
ちに幕を閉じ、今年も是非にという各校
の要望で、昨年に引き続き開催される
わけですが、昨年同様多数のご出席を
お待ちしております。

第二回合同新年会の概要

上記の記事でご案内のとおり第二回
古川市内四校合同の「新年の集い」が
一月二十九日に決定しております。
昨年初めて開催され、好評のう
ちに幕を閉じ、今年も是非にという各校
の要望で、昨年に引き続き開催される
わけですが、昨年同様多数のご出席を
お待ちしております。

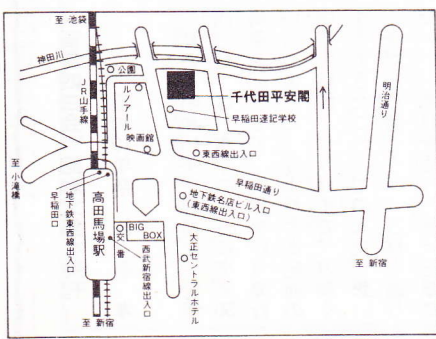
▼日時 平成七年一月二十九日(日曜日)
午後二時~午後五時(予定)

▼場所 高田馬場「千代田平安閣」
新宿区高田馬場二一六十一
電話 三三〇七五一六一
JR山手線または営団地下鉄
東西線の「高田馬場駅」下車
徒歩二分

▼会費 七、〇〇〇円

▼講演 「一九九五年の日本経済」
昭和23年卒 鈴木大吉さん
(日本団体生命保険(株)副社長)

案内図



初めての「旅行会」 少人数ながらも楽しい旅に！

さる11月19日、20日の土日にかけて在京同窓生15名が参加して、長野との県境に位置する群馬県嬭恋村の新鹿沢温泉に1泊2日の「旅行会」が初めて実施されました。

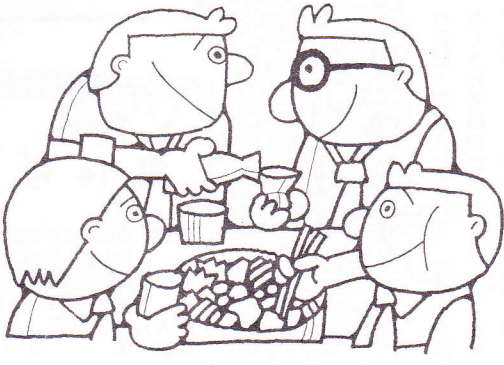
19日当日は、前夜の雨が嘘のように晴れがあり、この季節としては珍しい汗ばむ程の陽気で、絶好の旅行日和となりました。新宿駅前を予定通り9時30分に出発。練馬のインターに入る前、ビールを仕入れ車中宴会の準備。練馬から関越にのり一路上州へ。総勢14名（1名は仕事の都合で旅館直行）の小世帯でどうなることかと心配したが、バスは小型のサロンカーでゆったりスペースのなかなか快適な旅。アルコールが回ったところで自己紹介。後は幾つかのグループに分かれ、各々のグループ毎に歓談。早くも車酔いか酒酔いか不明の人、寝る人等等…。

正午に最初の見学先「ハルナグラス」の工場に到着。丁度昼休みに入るためガラス工芸の制作実演はチョットしか見れなかったが、階上の見学スペースに立っていても熱気がすごく、夏場の作業を思い…。見事に見学コースの最後におみやげ（作品？）売り場が組み込まれ、そこを通らないと外に出られない仕組み。マンマとはまって早くも両手がふさがった人数名。そこを出て10分ぐらいで昼食の店へ到着。時間が時間だったので全員空腹状態であったが、名物の水沢うどんはマイタケや野菜のテンブラが付き、箸休めもキノコづくしで内容も充実、味も絶品。ただチョット量が足りなかったのが残念。皆さんも絶賛。その証拠にほとんどの人がお土産にうどんを買った。

お腹が満足した後は、吾妻川沿いを上り、途中「浅間酒造」に寄る。銘酒を仕入れる人、試飲を何回も繰り返す人様々。さすがに1升瓶は荷物になるため皆さん遠慮して4合瓶にした様子。バスに戻り買ったのにこり酒を開栓。そんなこんなで山間の紅葉を見ながらウトウトしている間に今夜の宿「つちや旅館」に到着。

各々の部屋にチェックイン後、旅装を解いたと思ったら、全員が大浴場に殺到、早速温泉気分を満喫。湯上がりはビールだと、47年卒の小嶋進さんが酒の肴に土産の漬物を出すと、これが減法盲くビールによく合う。宴会が始まる6時までに冷蔵庫がカラ状態。

6時からの宴会は、宿で合流した30年卒の三浦哲夫さんに加え総勢15名となった。多藤副会長の挨拶の後、26年卒の遠藤さんの音頭で乾杯。宴の最中突然の訪問者が現れた。隣接する長野県小諸市在住の32年卒遠藤康光さんが



駆けつけてくれたのである。予期せぬ嬉しいハッピーニングに全員大喝采。遠藤さんを変えあちこちで車座になり暫し歓談の後はおカラオケ大会へ。それぞれ自慢の喉を披露し延長戦に突入。三浦さんはカラオケが駄目ということ、割箸を指揮棒がわりにコンダクターを大熱演。中締めのと、片平事務局長の挨拶があり最後は校歌を歌って終了した。

部屋に戻ると、若手の部屋では何時宴会から抜け出したのか白川夜船状態が1名。それに刺激されたのか日頃の疲れが溜ってたのか、皆さんフトンに入ってしまった、小杉幹事長（40年卒）ひとり不満みたのであったが、何もないところなので締めたらしい…。他の年輩？部屋は元氣一杯で、遅くまで賑やかに話声が聞えた。

翌朝は若者部屋全員が早起き（9時に消灯したのだから当り前である）しユックリ朝風呂につかり、余裕で朝食をむかえた。朝から4杯もご飯を食べ美味汁までおかわりした人が2名…。私自身こんなにユックリ過ごしたのは久しぶり。予定通り9時に出発1時間

足らずで長野県小諸のりんご園に到着した。500円の入場料で、持ち帰り分は2個まで無料。その場で食べる分は食べ放題なのだが、木からもぎたての林檍がいくら旨いとはいえず、そう何個も食べるもんじゃない。皆さんも楽しそうで、持ち帰り分とは別に買った人も随分いたし、妥当な料金で楽しめるから地元の人も結構多いようである。「菜あれば苦あり」楽しんだ後には決して辛いことと相場が決まっている。次の目的地妙義神社では、長くて急な坂道と急勾配の長い石段が待っている。本殿にたどり着くと息があがり

の陽明門とまではいかないが、陽明門

のミニ版といった感じの素晴らしい門がありました。本殿参拝後は、回り道をして勾配の緩い坂を下ってきたので余裕で、辺りの景色を見ながら下りて来られました。鬱蒼とした杉の巨木が醸し出す荘厳な感じや地形は、どこの神社も似た感じを受けるが、これらを造営する際には、風水師とかが場所を決めるらしいので、そういった感じになるのかも知れない。

妙義神社を後にし、釜飯で有名な横川のおぎのやで昼食をとり、ひと休みして帰路についた。帰りのバスの中は新宿に着くまで暇なので「寅さん」のビデオを見ながらの帰り道であったがタイミンク良く丁度新宿に入った所で終わった。予定より1時間も早い3時過ぎにはもう到着。新宿駅前解散。皆さん三々五々重い土産をさげてる帰宅となりました。

個人的な感想としては、鄙びた温泉で久しぶりにノンビリ出来たし、美味しい物も食べたし、見学場所も定番であったが、以外に楽しめた。今回、大活躍の小杉幹事長に感謝します。

「旅行会」開催に至る経緯については、従前より役員会の席上などで度々話題にあげり時期尚早云々でしばらくペンディングされていた「旅行会」の開催でありましたが、10月の役員会の席上で若手から再度提案され、賛成多数で役員会の承認を受け、今回の旅行となった次第。

- 旅行参加者氏名
- 昭9多藤 省徳・昭24我孫子静夫
 - 昭26遠藤 惇・昭26佐々木達夫
 - 昭27種村 雄一・昭30三浦 哲夫
 - 昭31石川 勝夫・昭31片平 司朗
 - 昭31秋沢 法雄・昭34宍戸 志智
 - 昭41小杉 誠輝・昭41二郷 英明
 - 昭44伊沢 正雄・昭47小嶋 進
 - 昭45島山 英洋 以上15名。島山記

「蜚雪四三会」記念文集を発売

昭和19年卒 佐々原 孝

私ども昭和19年卒同期会「蜚雪四三会」は、本年の6月に卒業50周年を記念して、文集を作り発行いたしました。今より半世紀前の中学生時代より今日まで、力強く生きてきたこれまでの人生を想い「今だから話そう」「これも語りたい」「あれを思う」等々を筆に託したものです。

我々が「蜚雪四三会」は会員数151名でしたが、物故者が37名にもなってしまう現在の会員数は114名となっています。青春時代を暗く抑圧されて過ごし、敗戦によって価値観を根底から覆された世代であります。にも拘らずユーモアを解し、人の情けを知り、かつての大崎健児のプライドを今も持っている集りです。毎年同級会を開き毎回出席率が50%以上と結束力を誇り、時には古川市の市長選挙に泣き笑いをした最後の大正生まれです。

今回上梓した記念文集の編集にご苦労された幹事連は、この記念文集に「心の琴」と銘しました。まったくその銘のしめすとおり青春を想い、現在を語る珠玉の名品となっております。

6月のクラス会で、この文集を手にした参会者は、「今後も節目節目には又書いて文集を発行していこう。それ迄は元気で」と手を握り、肩を組み合い校歌を歌って散会しました。

『在京古高同窓会の近況』

在京古高同窓会副会長 三浦良

在京同窓生の皆さん。新年明けましておめでとうございます。ご健勝で輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

在京の総会や古川市内4高の合同新年会にいつもお招きをいただき、出席をさせていただいておりますが、在京の皆様のご厚情に感謝申し上げます。

さて在仙の古高同窓会ですが、昨年は2回総会を開きました。一昨年は、在京同窓会で応援した本間知事さんの不幸な出来事が発生しましたので総会を開催せずに昨年の2月15日に第44回の総会を、12月1日には第45回の総会開催と2回開催しました。昨年12月の総会では案内を千43人に郵送いたしましたが出席は102人(旧中45人・高校57人)で盛会裡に終了いたしました。当口はご来賓として澁谷候夫校長、野村

三(同3回)の皆さんが留任された。

「在京田尻会」に出席して

昭和29年卒 小野賢次

遠田郡田尻町出身者の集い「在京田尻会」がスタートして今年が10回目となる。その記念総会が去る11月12日の土曜日に東京都中央区茅場町にある鉄鋼会館で行なわれた。

田尻町と町内に事業所のある企業6社などの強力なバックアップにより年ごとに発展を続けている。

在京古高同窓会にも大きなご支援をいただいている佐々木喬さんがこの田尻会の会長であったこともあり、毎年私は同窓生を誘って参加し続けております。

喜太郎同窓会会長、在京古高同窓会の会長で衆議院議員の伊藤宗一郎、県議会議員の佐藤常之助、(旧中39回・古川市出身)の皆さんにご臨席をいただきました。

また「政令市仙台の市政について」と題して仙台市助役の武田正(高6回古川市出身)さんに記念の講話をしていただきました。永い間、徳陽シティ銀行で在仙の事務局長をしていた菊地良一(高4回)さんに感謝状を。総会毎に贈呈している記念品は、旧制中学40回卒の出席者に差し上げました。

役員改選では、会長早坂啓(旧中42回) 副会長近藤基三郎(同28回) 高田種夫(同31回) 高橋勝夫(同48回) 三浦良(高1回) 菅原仁(同) 公平有史(同2回) 片平和彦(同3回) 鈴木忠三(同3回)の皆さんが留任された。

今回は「10周年記念総会」ということもあり大きな盛り上がりを見せ、出席者は20名にも及んだ。(当事者の話ではこれ程の会はないという。)

地元の情報を釜浦町長や町の皆さんがタップリと届けてくれただけでなく田尻産米の「ひとめぼれ」や特集の記念誌などもお土産としていただいた。更に、登米郡南の方町の出身で「祝い船」のヒットで有名な門脇勝男さんの歌謡ショーを楽しんだ。美味しい立食パーティーとなると老若ワイワイガヤガヤのエビス頗。

かくて10回目の記念すべき総会の宴は賑やかに午後4時ごろまで続いた。尚、この総会で佐々木喬さんは名誉会長となり、新しい会長に佐々木欽三

在仙古川高同窓会の事務局長を徳陽シティ銀行から公平有史副会長さんが経営する陽光ビルサービス(株)(仙台市青葉区上杉二一三七・電話〇二二二六五―五八四一・FAX〇二二二六五―五七七八)に移転。事務局長は同社総務部の相澤仁(旧姓十文字・高5回古川市出身)さんになりましたので宜しくお願い致します。

仙台市役所にも古高会があり、会長は武田助役、副会長の五十嵐至(高7回・交通局次長) 伊藤忠男(同8回・財政局次長) 村上茂(同8回・都市整備局次長)の皆さんをはじめ138人の同窓生がおられます。私は小野田町の出身で、現在は泉区選出の仙台市議会議員をしております。仙台市にご用の節はご連絡を。

自宅 仙台市泉区光陽台一―十三―十三 電話 〇二二―三七二―四三三五 FAX 〇二二―三七二―三三〇二

最後に、在京古高同窓会のご発展と同窓の皆さんのご活躍を祈念しながら閉筆といたします。感謝合掌。



写真左が名誉会長となった佐々木喬さん、右が新しく会長となった佐々木欽三さん

明けて おめでとうございます

在京古高「三一会」有志

- | | | | | | | | |
|------|-----|------|------|------|------|-----|-----|
| 浅野平男 | 石川勝 | 石堂十六 | 石堂隆一 | 大石内村 | 大内信司 | 奥尾平 | 尾片生 |
| 俊寛 | 陸和 | 嘉勇 | 剛男 | 雄剛 | 嘉勇 | 剛男 | 功 |

昭和31年卒

1996年、卒業40周年記念同期会開催を期待します。
今年の同期会は4月1日(土)ホテルニュー神田 14時集合



在仙古川高校同窓会副会長

みうらりょう
三浦良

仙台市議会議員(泉区)
自由民主党泉区支部長
(昭和24年 高1回卒・小野田町出身)

〒981-31 仙台市泉区向陽台1丁目13-13
TEL 022-372-4385
FAX 022-372-3302

謹んで新年のお慶びを申し上げます

今年の正月は鬼首スキー場でスキーを楽しもうと思っています。年をとってから始めたスキーなので、なかなか上達せず苦労しています。

昭26 遠藤 惇

白い花、赤い花、山茶花が咲いてわが家の庭も冬景色となりました。冬休みには孫たちが来てくれる事を楽しみにしている昨今です。

昭9 多藤 省徳

初御空心の鏡晴るるかに
老いといふ閑日にあり松の内
一段と焼け色差し初雀

大15 師 松魚

今年も例年通り一月最後の日曜日小牛田町旧不動堂村小学校の同級会を鳴子にて一泊で楽しく過ごしてきましたと思っています。

昭23 菅 昇

杉並区長選挙に出馬します。この四月二十三日が決戦のとき、必勝の念に燃えて精進させていただきます。同窓生のご理解を宜しく！

昭36 千葉 昇

私も年相応に酒量を減らし、体重も八十キロ以下にしたいと思っています。房総の山々を歩くことを今年の目標としています。

昭27 春田 紘輔

年末年始はシंगाポールで過ごします。娘も同行するので孫達一家と一緒に大家族の正月となります。不況を脱し明るい年を願っています。

昭17 高橋 淳夫

平成六年は父の死で古川に数度帰っています。正月は帰郷しないで静岡県大井川町の自宅で寛ぐのが最良かと考えています。

昭34 村上 金吾

今年の正月は、久しぶりに小学校時代の同期会に出席する予定です。果して何名の顔が判るか、今から楽しみにしております。

昭26 角田 啓輔

賀春 苦節35年、そしてすべてはこれからです。

昭34生・五黄土星 昭53 高橋 昭彦

サラリーマン稼業への未練を断ち切り自営業となりました。写真から油絵肖像画を作ってみませんか？贈物に最適です。

昭29 小野 賢次

昨年は久しぶりに老妻と連れだつて夏奥日光。秋は京都の紅葉。笠置山の紅葉はグットタイミングすばらしかったです。さて今年は何？

昭12 佐藤 恂一

会長として会員の皆様にお世話になっていることに感謝し乍らその御期待に応えるよう更に決意を新たに全力投球いたします。

昭16 伊藤宗一郎

現在、省エネや設備安全に取り組んでおりますが、今年はあらたに環境とPL法を加えたいと考えております。

昭40 佐藤 啓三

『猪突猛進』といきたいところですが、残りがますます短くならないように時々後戻りしたいと考えております。

昭27 佐藤 清勝

ことは、本業でないボランティア活動で忙しくなりそう。自然をできるだけ足で歩く1年にしたいと思っています。

昭18 渡辺 三男

不況で暇かと思つたら、忘年会、新年会などで結構忙しく、お陰で正月も休みなし。ホテルのかきいれ時ですから頑張っています。

昭45 菅原 強

新年明けましておめでとうございます。政治安定、景気回復そして大豊作と明るい年となることを祈っております。

昭9 伊藤 守治

加速度的に進む脳と肉体の衰えをカバーするため、今年はいろんなことにチャレンジしようと思っています。過ぎたものは：にならぬように。

昭45 島山 英洋

新年おめでとうございます。同窓の皆さまのご健勝と不況に負けない活躍を期待しております。

昭22 半田 實

韓国に関心のある方にソウルの民泊先を紹介いたします。もちろん、日本語での案内付です。日本百名山は年令の51歳登頂に挑戦します。

昭37 千坂 孝夫

新年明けましておめでとうございます

昭和32年卒同期会有志



相 沢 成 憲 (古 川)	草 刈 次 美 (宮 沢)	高 橋 清七郎 (鳴 子)
青 沼 哲 雄 (古 川)	今 野 順 隆 (小野田)	高 梨 利 通 (大 貫)
青 羽 勝 利 (中新田)	川 口 勝 (北 浦)	竹 谷 靖 夫 (古 川)
阿 部 功 二 (鳴 子)	佐々木 勝 也 (川 渡)	長 沼 三 郎 (小野田)
石 川 繁 (鳴 瀬)	佐々木 悟 朗 (鳴 子)	沼 倉 和 雄 (高 清 水)
犬 飼 靖 光 (岩 出 山)	佐々木 道 夫 (宮 崎)	野 田 利 美 (東 大 崎)
大 泉 康 (古 川)	佐 藤 公 哉 (真 山)	桧 野 健 (小野田)
加 藤 謙 助 (古 川)	佐 藤 満 行 (大 衡)	三 神 良 雄 (中 埴)
加 藤 昭 七 (北 浦)	宍 木 邦 夫 (瀬 峰)	水 上 忠 彦 (古 川)
木 戸 秀 彦 (志 田)	下 屋 勝 (田 尻)	渡 辺 光 夫 (敷 玉)

第2回大崎地区総合文化祭開催される

昨年の11月11日金曜日から13日の日曜日にかけて小牛田町の公民館と文化会館を会場に大崎地区の高等学校14校が参加して第2回大崎地区総合文化祭が開催されました。

この総合文化祭は「文化祭を通して各校文化部の交流を図ると共に大崎地区高等学校の文化活動を充実させる」を目的に昨年初めて実施されたもので今年が2回目となる。

今年も昨年と同様に演奏部門（小牛田町文化会館）と展示部門（小牛田町公民館）とにわかれて実施され、互いに交流を深めた。参加及び実施概要は下記の通りです。

第2回宮城県高等学校文化連盟大崎支部総合文化祭の概要

1. 目的 総合文化祭への参加を通して各校文化部の交流を図り、大崎地区高等学校の文化活動を充実させる。
2. 主催 宮城県高等学校文化連盟大崎支部
共催 小牛田町教育委員会
3. テーマ 『感動探しに来ませんか?』
4. 参加校と参加部門

古川	高女	(音楽、美術、写真)	美術、写真
古川	工高	(音楽、美術、写真、書道)	写真、書道
古川	商高	(音楽、手芸)	書道
古川	農高	(音楽、美術、書道、化学、地学、文学)	美術、写真、地学
小田	高	(音楽)	美術
田尻	高	(音楽)	美術
山台	商高	(音楽、写真、化学)	写真、化学
鹿島	南	(音楽)	美術
南岩	出	(音楽)	美術
加美	新	(音楽)	美術
中大	中央	(音楽)	写真、陶芸

以上14校

※音楽部門…吹奏楽、合唱、ピアノ、その他

男子校なのになぜ家庭科？

生徒会長 伊藤孝行

みなさんの母校である古川高校でも今年の一年生から「家庭科」の授業が導入されることになりました。それにとともに現在、家庭科実習室の建築が進められています。「男子校なのになぜ家庭科？」と疑問に思う人もいると思いますが、私もその中の一人なのです。

文部省の学習指導要領には「男女が協力し合って家庭生活を築いていくことや家庭生活に必要な知識と技術を習得させることを重視する」とあります。なぜ男子校で家庭科を学

ぶ点があるのではないのでしょうか。私はよく他校の人達から実習の様子を聞きますが、料理を作る楽しさや最後までやり遂げたときの達成感や充実感など、習しなければならぬのか具体的に載っていませんでしたが、文部省の考えからすると、これからの時代は、男性であっても社会生活や家庭生活を営むうえにおいて、必要な最低限の知識や技術を学習して身につけなければならないようです。

ところで、現在のわが母校の家庭科の学習状況ですが、前述のとおり現在は実習室が建築中のため家庭科の知識面しか学習できない状況にあります。実習室が完成すれば、皆さんも存じのとおり実際に料理や裁縫などをして技術面の習得もできるようになるわけです。しかし、単に料理や裁縫の技術を学習する過程においても何か他に学ぶべき点があるのではないのでしょうか。なぜ男子校に家庭科が導入されたのか？それは、今の古高生に欠けているものを、を付け足すためではないでしょうか。

母・校・は・い・い・ま

どを挙げています。私には、このようなことが家庭科の技術面（料理や裁縫等の実習）を学習する過程において学ぶことのできる点だと思えるのですが、皆さんはいかがでしょう。

昔は、よく「家の中のことは、女の仕事だ！」などと言われていました。しかし、文部省の学習指導要領にある「男女の協力」や「家庭生活に必要な最低限の知識・技術を習得させる」等の文面からすると、これからの社会は女性にばかり家庭のことを任せ放しにしてはいけないのだと思います。だから男子校にも家庭科の授業が取り入れられたのだと思います。女性ばかりが学習しては駄目なのです。それに料理や裁縫の技術を習得することも、これからの社会人にとって必要要素となるのではないのでしょうか。

思い想う

『六十の手習いで考えさせられる』からの生き方』

昭和29年卒 豊田 哲夫

五度目の「猪一年、アツと言う間に「定年」という区切りの年を迎え、心底「歳月人を待たず」を痛感しております。まだ三年ほどは出向先の世話になる予定ですが、こんなご時世では厄介者？かなといささか気が引けます。

とはいっても、親父が卒寿・おふくろが米寿を迎えて健在という血筋では、甘えるしかないかと。この間に、その後の三十年余りの算段をつけねばといった近況なのです。

「毎日が日曜日！」に備えてなどという屁理屈をこねて、暇さえあれば囲碁・ゴルフ・麻雀にうつつを抜かした三十年代・四十年代。しかし、こればかりで定年後の三十年余を過ごすのは無理筋というものでしょう。

そこで偶々家内が経験した日本語教師ならボランティア活動向きかなと考えました。思い立ったが吉日と昨年の四月から、媒介語としての中国語の勉強という無謀？な試みに挑戦を始めました。

早稲田大学オープンカレッジの「中国語基礎コース」なる講座です。三名の現役学生を除き、還暦過ぎの若者？から四十代の主婦層まで、約三十名の受講生。元教師、元公務員、商店のおかみさん等々の女性群が七割強。残りがおジサン数名。

教室の中央に陣取り、少々の間違いにもへこたれずに中国語に立ち向かうオバサンたち。日本語や英語と違って当然なのに、英文法・日本語の文法の感覚で「何故そうなるの!？」と詰め寄り中国人講師を絶句させるパワー。

（「中国ではこう言いますッ!!」）

茶話会の席上では、相手にお茶を飲む間も与えずに、中国事情・日本の印象・女性講師の家庭の事情等々集中砲火よろしく尋ねまくるパワー……。

一方、おおかたは自立したぬように端っこのほうに着席し、恥ずかしげに受け答えするおジサンたち。この慎ましやかな姿は、浮世のことわりを弁えた謙虚な態度とも、仕事にかまけて家庭内で座る場を失った男性がカミさんに一目置く習性とも窺える様。

語学力が向上したかどうかはさておき、積極的に好奇心を満たそうとするオバサン達の意欲は、年寄り臭さの目立つおジサンたちの意欲に比べてポルテージが高いのは確かです。

自分の感情に素直に、覗きたい時には覗きに徹する姿勢が女性の長生きのエネルギー源と感知しました。他人の気持ちに斟酌しない身勝手さはいささか問題ですが……。

「女性向けの覗き趣味テレビ番組」の氾濫に白い目を向けてきた自分ですが、「サテ今日はどう過ごそうか?」と自問自答する朝を迎える日々が目前に迫っております。「隣は何をする人ぞ」といった、近所付き合いの希薄な都会生活の中では、あまり楽しそうな状況ではなさそうです。

そんな訳で、自分なりに新しい社会との係り方を考えていますが、要は、「人様に迷惑を掛けないレベルで好奇心を満たすように積極的に行動することなのか？」と考えるこの頃です。先輩諸氏は如何だったのでしょうか？。

関西雪雪会のページ

「年頭のご挨拶」

清 鉢 中 昭29 関西雪雪会会長

在京古高同窓会の皆さん 関西雪雪会の皆さん、新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新年を迎えられたこと、心からお慶びを申し上げます。昨今の、激動・混沌・変革と、揺れ動く世情を物語るように、これらの文字は毎日のように新聞や雑誌に氾濫し、テレビニュースを賑わせております。今年も又、消えることなく何度となく目にすることになりそうですが、新年にあたりまして、関西から希望に満ちた明るい話題を提供したいと思っております。

戦後も早50年になり、ひとつの節目なので、現代はあらゆる分野にわたって根本的に大きな転換を余儀なくされる時代といわれております。戦後40年で世界一の経済大国となり奇跡の復興を成し遂げたが、今や世界は東西ドイツの融合、ソ連邦の崩壊等に象徴されるよう東西対立の時代が終りを告げ、目まぐるしく変化しております。国内的にはバブルが弾け爛熟から不況へと急降下、政治、経済ともに混沌としています。リストラクチャリングなどと変革が叫ばれるのもひとつのあらわれで、今新たな活力の創出が待たれている事は衆目の一致するところでありませぬ。

皆さんも存じのように、昨秋には関西新国際空港（日本で初めての24時間稼働の空港）の開港がありました。通称「かんくう」の開港は、人々の交流のみならず、物流面でも大いに活況を呈し、その経済波及効果は計り知れないものがあります。私たち市民もまた少なからず恩恵を受けることとなっております。また、国の内外から注目されている産・官・学が三身一体となって推進しております。大阪奈学術研究都市も一部ながら、オープンしたところでありまして、未来を予見する諸施設なども、ようやく始動したところです。本格的な稼働が待たれております。その他大阪湾岸の諸施設に代表されるように未来志向の様々な施設の構築の光明を求めて胎動しつつあるところといえます。

この関西に基を置いている関西雪雪会の皆さんは、幅広い分野で活動されておりますし、各々が各分野で大いに活躍されております。「関西燃ゆ」の原動力となつて、新たな活力の創出に克己精励されておられることは論を待たないのであります。これは、昨年末に開催しました古高同窓会関西雪雪会の総会および懇親会における古高健児の意気盛んな発言や挙動などによって十二分に推察されることと感ぜました。最後にになりましたが、在京古高同窓会の皆さん、関西雪雪会の皆様がたの今後ますますのご健勝とご多幸を祈念いたしました。拙文ながら関西雪雪会の代表と致しまして私の挨拶とさせていただきます。

関西雪雪会のページ

「関西雪雪会」

総会および懇親会を開催

古高同窓会・関西雪雪会事務局長

阿部 一彦



- 総会及び懇親会出席者は以下の通り。浅野 進（第1回・中新田）松田 勉司（第3回・南郷）森谷 政志（第5回・古川）及川 浩（第5回・小牛田）中鉢 清（第6回・川渡）鈴木 英悟（第6回・古川）鈴木 友夫（第7回・古川）小島 孝敏（第7回・鳴子）阿部 一彦（第7回・川渡）内海 滋夫（第9回・中新田）村上 寅太（第9回・古川）中沢 重一（第9回・田尻）長谷川富三（第11回・高清水）佐藤 正幸（第16回・清滝）柳川 俊明（第24回・中新田）佐々木啓樹（第37回・古川）

中。この度は失礼ながら欠席させていただきます。悪しからず。嘉治井 増男（古中37回）健康に留意しながら、毎日休むことなく元気で頑張っております。青野千代治（古中43回）三浦 澄能（古高1回）相変わらず、毎週、東京大阪往復の状況です。新年こそ明るい景気にと期待したいものです。岡本 郁男（古高3回）鈴木 孝（古高4回）残念ですが所用のため、出席出来ません。皆さんよろしく。芦田 三雄（古高8回）出席の予定でしたが、急に出張が入り残念です。今野 尚雄（古高9回）出席の予定でしたが、海外への出張が入り駄目になりました。皆さんによろしくお伝え下さい。鈴木 剛夫（古高9回）駒米礼二郎（古高11回）富士 祐吉（古高11回）大変返事が遅れて申し訳ございません。胃の手術より1年経過。検査のため病院へ行く日に当たっておりますので、欠席させていただきます。遊佐研治郎（古高12回）初めて参加させて頂くのを楽しみにしていましたが、会社の重要行事があるため欠席させていただきます。黒江 章郎（古高12回）高橋 達也（古高24回）当日私用のため出席出来ません。皆様よろしくお伝え下さい。

ふるさとに寄せる想い

関西蛍雪会 高5回卒 森谷政志

学生時代を含めると関西に在住することです。41年経ちました。人生の3分の2をこちらで過ごしたことになります。当時はふるさとから関西までは夜行列車を使い、1日1夜、長旅でした。今では飛行機で1時間チョイとなり、片道に半日費やしたとしても充分日帰りができる時間と距離になりました。当時のことを思うと隔世の感があります。

今と違って遠かったせいもあります。両親が揃って健在だったころは、親の方で旅行を兼ね、毎年のように関西まで来てくれたので、こちらが顔見せに帰省するということが余りなかったように思います。15年前に父親が亡くなってからは、毎年お盆に墓参りを兼ねて帰省するのが、わが家の年中行事となりました。

帰省するときは車を利用することにしていますが、お盆の期間中は民族の大移動の時期にあたりますので、極力混雑や渋滞を避けるようルートや時間帯を綿密に調べた上で、車を利用しています。

北陸道・新潟経由が最もスムーズで快適なドライブが楽しめます。同一のルートは通らない主義ですので、毎年少しずつルートを変えて楽しみながら走っています。お陰様で新潟、山形、福島地方に少しは詳しくなりましたように思います。

各地の夏祭りや行事を楽しみながらの旅もまた格別ですが、人との出会いや交流もまた楽しいものです。昨年のことですが、ガイドブックをたよりに

とある小料理屋で地元の山海のシェンを肴に杯も進み、一夕を楽しく過ごしたので、今夏もまたその料理屋を訪ねてみたら、店のご主人が私たちのことを覚えてくれており、「去年はあの席でしたね」といってくれた時には驚きとうれしさで感動を覚えました。と同時に商売の原点を教えられた思いでした。

さて、わがふるさと古川は、昨年の異常気象による歴史的大凶作とはうってかわり、今夏は好天に恵まれ秋の刈入れ前の長雨にもかかわらず作況指数が100以上の豊作だったことは同慶の至りです。お陰様で美味しい「ひとめぼれ」や「ささしき」がいただけるのは「米所」に育った私にとって誠に有難いことです。

昨年の11月11日に宮城県の企業立地説明会が大阪の第一ホテルで開催されました。宮城県側からは、浅野知事をはじめ県や各市町村より代表の方々が大勢おみえになって、各地域の将来像を熱心に説明しておられました。浅野知事のご挨拶の中で宮城県の優れた点として3Kすなわち高速交通網、空港港湾のインフラが整備されていることと、「飲む、打つ、買う」の3拍子が揃っている点を挙げていました。因みに「飲む」とは、美味しい地酒を山海の珍珠を肴に安く飲めることであり、「打つ」とは、仙台周辺には30分以内で行けるゴルフ場が30カ所以上もあって待ち時間無しでプレーできること。「買う」とは、土地付き一戸建の住宅が約三千万円で購入できるということ

でありました。あらためて、宮城県の生活環境の良さを再認識した次第であります。

近年我がふるさと大崎地方にも次々と工場が誘致されている様子。農業も「米」だけに頼る時代は終って効率的な変革を求められているようですが、農協の合併等の動きに代表されるよう着々と変化しつつあるようです。商業においても昔ながらの商店、生業ではなく経営の近代化が進められつつあるようです。21世紀向かい大崎地方が仙北の中心として機能する日も近そうです。食住が接近し農・工・商が調和のとれた豊かな田園都市づくりをめざし努力している姿が彷彿してきました。ふるさとから遠くはなれて暮らしている我々としては、他人に誇れるふるさとを持つことの喜びをかみしめ、郷土古川・大崎のますますの発展を切に願うものです。

新春のお慶びを申し上げます

昨年より関西蛍雪会のため、貴重な紙面を頂戴いたしまして厚くお礼申し上げます。また、紙面に在古高同窓会の活動を拝見させて頂いた上で、大崎を含めた広域な活動に発展されていることに感動いたしております。

今回は、関西の活動報告を新年号に寄稿することになり筆をとらせていただきました。

本会の活動といたしましては、会員数の関係もありまして、年に1度の忘年会に注力しているのが現状であります。したがって、活動報告というよりは忘年会の締めくくりに歌う「校歌」についての

関西蛍雪会のページ

謹賀新年

古高同窓会・関西蛍雪会

(第16回・平成6年12月総会及び懇親会出席者一同)

- 進司 志浩 清悟 夫敏 彦夫 太一 三幸 明樹
- 勉政 英友 孝一 滋寅 重富 正俊 啓
- 野田 谷川 鉢木 木島 部海上 沢川 藤川 木
- 浅松 森及 中鈴 鈴小 阿内 村中 長佐 柳 佐
- 新田 郷川 田渡 川子 渡田 川尻 水滝 田川
- 中古 小川 古古 鳴川 中古 田高 清中 古
- 新田 郷川 田渡 川子 渡田 川尻 水滝 田川
- 第1回 第3回 第5回 第6回 第7回 第7回 第9回 第9回 第11回 第16回 第24回 第37回
- 古高 古高 古高 古高 古高 古高 古高 古高 古高 古高 古高 古高

校歌 雑感

関西蛍雪会事務局 佐藤正幸

多分「校歌」は青春を思い起こさせ

「青春賛歌」であり、かつまた、生涯青春の最高の演出家(演出歌)とも言えるのではないのでしょうか。私は校歌の第一節が大好きです。どこでも同じであるうかと思えます。ただし、学生時代の感覚とは少し違って、郷里を遠くに感じて各々の社会生活を過ごしている同窓生の皆さんが放吟される姿には、先輩後輩の意識を越えて一種の連帯感を醸成させる力を「校歌」が持っているように感じます。関西蛍雪会の皆さん!今年も青春賛歌の宴には是非参加をして、校歌を歌っていただきますよう宜しくお願い致します。

関西蛍雪会のページ

文字情報入出力
コピーサービス
テレホンカード
トレース製図
完成図書
総合印刷

ケーヨーは情報化時代の未来を拓く
あなたのパートナーです

取締役社長
早坂清吉

完成図書作成 総合複写印刷 CAD プライントカード

株式会社 ケーヨー
〒103 東京都中央区日本橋本町4-1-5
☎ 03-3242-0191 FAX03-3242-2061

諸官公庁 指定塗装工事業者

神奈川県知事許可(般-62)3987号 マスチック施工協会会員
(社)日本塗装工業会会員 塗装工事一式請負

株式会社

ツノダ美装社

代表取締役 角田耕一 (昭和44年卒)

川崎市川崎区渡田2丁目11番4号 電話 044(333)4712番(代)
FAX 044(355)8145番



活力と魅力にあふれる
クリエイティブカンパニーをめざす

住友電設株式会社

社長 三浦澄能
(昭和24年卒)

東京都港区芝2丁目2-17 ☎(03)3454-7311(代)
大阪市西区阿波座2丁目1-4 ☎(06)537-3400(代)

税理士 青沼康男
不動産鑑定士

(昭和19年卒)

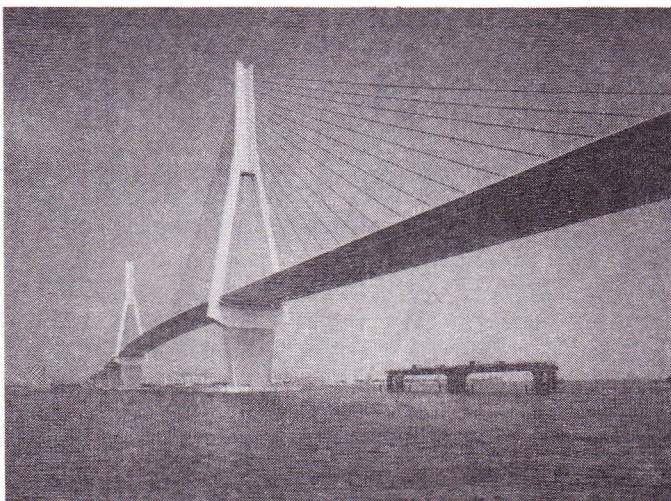
〒108 東京都港区芝4-6-16 ライオンズ三田805
TEL 03-3452-2004
FAX 03-5476-8006

日曜大工園芸用品卸 貸ビル、貸マンション業

株式会社 佐々木商事

代表取締役 佐々木 光一路

〒144 東京都大田区南蒲田1-1-21 佐々木ビル
第一京浜国道沿い京急蒲田駅前
小売部 (エコノミープラザ・ダックス)
電話(3732) 7700
卸売部 電話(3739) 2468
FAX(3739) 7234
不動産部 貸ビル・貸マンション

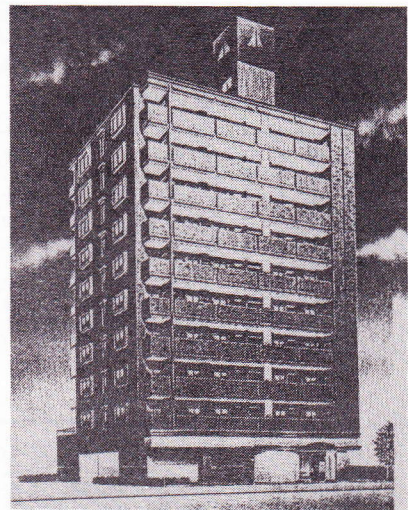


当社施工「鶴見つばさ橋」(平成6年12月完成)

技術と品質で21世紀に飛翔する

株式会社 宮地鐵工所

代表取締役社長 遠山仁一 (S.25卒)
東京都中央区日本橋小伝馬町15番18号



ステージ萩中グランドパーク

Century 21
ハウジングセンター

東京都知事免許(5)第41620号
社団法人住宅産業開発協会会員
〒146 東京都大田区東矢口3-2-1
TEL.03(3738)5111 FAX.03(3739)3110

センチュリー21の加盟店は、すべて独立・自営です。

古高47年卒 小島進